

令和5年 第9回 地域密着型サービス運営推進会議 報告書

サービス種別	地域密着型通所介護
事業所名	富山型デイサービスもみじ
開催日時	令和6年1月25日19時00分 ～ 20時05分
開催場所	富山型デイサービスもみじ

1 出欠状況

		委員		事務局	
		氏名	主な役職等	氏名	役職
出席者	・室田 一男		自治会長	・増田 昇平	代表取締役
	・五十嵐 正志		長寿会 会長	・増田 千春	取締役
	・小津 智子		国吉五位地域包括支援センター 介護支援専門員	・増田 一夫	取締役
	・竹島 富美子		有識者(保健師)	・井上 聖隆	生活相談員
欠席者	・武島 真紀子		福祉活動員	・宇田 浩	生活相談員
	・藤田 富志美		民生委員		
	・有澤 啓子		高齢者福祉委員		

2 活動報告

活動状況
<ul style="list-style-type: none"> ・3か月毎にもみじ新聞を作り利用者、家族に配布 ・農園にて野菜の栽培 ・外出レク(おとぎの森公園、近くの公園) ・踊りボランティア(4年ぶり) ・カラオケ ・納涼祭(8月) ・壁面飾りつけ ・裁縫での作品作りなど
活動状況に対する評価等
職員、利用者が各自得意なことを活かして、畑作業や飾りつけ等を行い、家庭的な雰囲気が出ていて良い。

3 その他報告事項

<ul style="list-style-type: none"> ・運営方針 ・能登半島地震での被害報告 ・運営状況(職員体制、利用者状況) ・事故報告 ・もみじホームページのブログの紹介

4 要望、助言

要望、助言等
1転倒リスクの高い利用者がいるため、棚の角にクッション材を取り付けるなど、転倒してもケガのリスクが下がる方法をとるようにしたらどうか。また、車両事故は必ずバックで止めるようにすれば、類似の発生を防げるのでは。 2新聞等でコロナの感染拡大が報じられているが、県から通知(注意喚起)は来ているか。 3地域として協力できる取り組みはあるか。
要望、助言に対する事業所の考え方及び対応
1事故が発生する前に、リスクを減らすことを検討する意識が低かったので、ご意見を活かしていきたい。 2県から直接ではなく市からメールで通知が来る。2類のときは頻繁に来ていたが、5類移行後は特に来ていない。コロナは職員が感染する等流行しているものの、通知が来ていないためそこまでの事態ではないと考えている。 3地域密着型の施設なので気軽に立ち寄れる施設を目指していたが、地域見守り隊が唯一の交流となっている。お茶飲みボランティア、認知症カフェなど、何らかの形で関わりを持っていきたい。

4 その他意見等

・国吉・五位地域包括の担当の方がもみじを利用している。本人は外出に億劫だったが、富山型の家庭的な雰囲気が出て、利用を継続している。□ ・地震等の災害の際、中保の自治会では、協定書は取り交わしていないが、一時的な避難所として利用させてもらい、身体が不自由な方については、利用可能であればハイエースでの運送に協力してもらうことになっている。□
--

(留意事項)

- ①必要に応じて欄を追加してください。
- ②活動報告等報告書に収まらない場合は別紙で資料を添付してください。
- ③運営推進会議開催後、1月以内に報告書を高岡市高齢介護課まで提出してください。